

黒石市長

高 樋 憲 様

令和2年度

黒石市に対する要望事項

黒石商工会議所

令和2年度黒石市に対する要望

◆「福祉」

1. 小学校閉校に伴う災害時緊急避難所の確保について（新規）

2019年10月に発生した台風19号により、各地で河川の堤防の決壊や氾濫による浸水、土砂崩れなどが多発し、非常に広範囲に甚大な被害をもたらしました。それ以外にも九州北部豪雨、千葉県豪雨など、2019年には日本各地で台風・豪雨被害が相次ぎ、「命を守る行動をしてください」と、アナウンサーが繰り返し注意を呼び掛けておりました。いつ発生するか分からない自然災害のために、日ごろの備えが必要となります。

現在黒石市では、災害時の緊急避難所として、各小学校が指定されております。しかし令和2年4月から、今まで避難所として指定されていた小学校が閉校となり、最寄りの避難所がなくなるのではないかと不安を感じている近隣住民のために、引き続き指定避難所としての機能維持を周知していただくことを要望します。

また、売却となり市の指定避難所を解除することになった場合には、近くの公民館などでは収容しきれない可能性があり、遠方の避難所に赴かなければならないケースも想定されます。避難先の変更について住民への周知も必要となることから、代替の避難所の検討を早急に対応していただくことを要望します。

2. くろいし健康マイレージの継続について（継続）

黒石市による「健康都市宣言」(H27.2.21)に伴い、生活文化商業部会では平成28年度より「くろいし健康マイレージ」の周知及びポイント利用のできる協賛店を募集するサポート等を行っております。当所発行の「商工くろいし」及び地元の新聞社にも記事として取り上げられており、少しずつではありますが当所の会員企業等にも周知がなされております。また、定期健康診断及びガン検診等の受診率も年々向上しているように感じられます。平成27年度に行われた国政調査の「平均寿命」では、青森県は前回の調査に引き続き47都道府県の最下位でした。県内でも特に黒石市が属する中南地域のガンの死亡率が高いというデータもあります。そこで当所会員企業等への健康診断・ガン検診等の受診率の向上並びに健康への意識を高めていくためにも引き続き周知が必要であると考えます。

そして、最終的には黒石市民の医療費の削減・国民健康保険税の減税、平均寿命、健康寿命の向上に繋げていくべきであると考えます。

このことから黒石市の「健康都市宣言」をより効果的なものにし、黒石市民と黒石市に拠点を置く事業者の健康と繁栄を目指していくためにも「くろいし健康マイレージ」を継続事業とし、市民の健康意識向上のために更なる予算措置を施していただくことを要望します。

◆「商工業振興」

3. 黒石市制度融資保証料の増額と制度間の流用について（継続・一部変更）

黒石市制度融資は当該保証料を一定額、市が負担し中小企業者の資金繰りや経費負担の軽減に寄与しております。

今年度より利便性向上の観点から保証料給付の認定要件が撤廃となり、より円滑に制度融資が利用できるようになりました。

制度融資の利用状況については、黒石市は青森県信用保証協会弘前支所管内での事業所数が2番目に多い地区であり、制度融資の利用件数も2番目に多い地区となっています。そのため令和元年度は上半期で予算に達してしまい、年度後半には保証料給付が受けられない中小企業者が多くなっています。

よって、更なる利便性向上を図り1件でも多くの中小企業者が保証料給付を受けられるよう保証料給付の増額を要望すると共に、現在ある2つの制度融資間で予算を流用できるよう要望します。

4. 地域産業振興・雇用拡大につながる事業について（継続）

全国的な少子高齢化による人口減少は黒石市でも進んでおり、市内中小企業の雇用者も減少している。

黒石市では、創業5年未満の創業・起業者への支援として「黒石市創業相談ルーム」を開設し、「黒石市中心商店街空き店舗対策事業補助金」と連動で支援しています。

相談者も増加傾向で好評であることから、「黒石市創業相談ルーム」並びに「黒石市中心商店街空き店舗対策事業補助金」の継続と更なる充実を図ることを引き続き要望します。

◆「都市環境」

5. 黒石市人口減少対策のための補助金創設について（新規）

当市の総人口は、昭和30年の41,607人をピークに減少へ転じ、令和元年12月1日時点の人口は33,084人となり、ピーク時から比しおおよそ20%、前年同月比では約400人減少しています。また、成人式の対象者数は、当市より人口が少ない平川市や三沢市より少ない状況にあります。

統計でみると人口が増加した市町村では、安定的な雇用環境や住環境整備、加えて子育て支援等の取組みが進められたことで、人口の流入・定着が進み若い子育て世代の人口構成割合が高まり出生率の向上に繋がっているものと考えられます。

当市の人口減少幅縮小のためには、所得水準の向上や暮らしやすさの向上に取組み、多様な就労環境、安心して子育てができる環境整備など長期的な観点から捉えることが重要と考えます。

近隣市町村では定住促進と人口増加を図るために移住者及び子育て世帯に対し、住宅新築・購入に係る費用の一部を補助する事業や、子育て世帯を対象にした安心して子育てができる良質な低家賃の公共住宅を提供する事業を展開しています。

人口減少問題への対策として、補助金制度を創設するなど定住人口の拡大に向けた実効性のある施策を講じていただくよう要望します。

6. 大鰐浪岡線の交通渋滞解消と黒石環状線の整備促進について（継続）

大鰐浪岡線は、大鰐町を起点とし、平川市・黒石市を經由して青森市と結ぶ重要路線である。近年、沿道の商業集積や通過交通の流入などによる交通量増加に伴い、慢性的に交通渋滞となっている。

この交通渋滞を解消するため、更なる拡幅工事と本路線東側バイパス路線を含む黒石環状線（都市計画3・4・7 巾16m 延長7,170m）の整備促進を図ることを引き続き要望します。

7. カラス・野良猫対策について（継続）

黒石市内の路上がカラスの糞で、汚れている箇所を多く見かけます。黒石市を訪れる観光客はもとより、市民の目から見ても決して良いものではなく、黒石市の景観が損なわれていることが大変残念でならない。

計画作成年度が平成28年度「黒石市鳥獣被害防止計画」では、カラスの捕獲計画数が平成29・30・31年度は各100羽となっている。しかしながらカラスの個体数は減少していないように感じている。カラス被害を減らすには地域全体で対策に取り組み、カラスにエサ場を提供しない地域づくりを進めることも重要であると考えます。また、一部地域の、野良猫による糞・尿の悪臭に周辺住民が疲弊している。人が猫にひっかかれたり噛まれることによる、感染症等も懸念される。また、症例は少ないが、最悪死亡という報告もある。

そこでカラスに関しては、捕獲数の増加と市民への呼びかけ強化を要望します。また、野良猫に関してはエサを与えない呼びかけを、引き続き広報・HP等で周知していくことを要望します。

◆「観光振興」

8. 国内外からの観光客に対する受入体制及び誘客の強化について

（継続・一部変更・追加）

- ①黒石よされの開催・運営にあたり、観光客の受け入れ体制（トイレ・駐車場・照明）の不備や関連設備の老朽化、また祭り参加に係る個人の負担増による参加市民の減少など、多くの問題を抱えています。「黒石よされ」が昔の活気を取り戻すよう、黒石を代表する市の祭りであるとの認識のもと、さらなるご支援を要望します。
- ②金平成園は現在、春・夏・秋に公開期間をそれぞれ設定していますが、観光客に対してこみせ通りと並ぶ新たな観光の拠点として提案できるよう可能な限り公開日を増やして頂くよう要望します。
- ③現在、市外から市内への案内は十分なされていますが、一方通行の多い市内の案内が不十分です。また、外国人観光客の増加に対応する英語、中国語（簡体字・繁体字）、韓国語などの外国語表示の街路案内板も必要な状況となっています。つきましては市内の一方通行をわかりやすく誘導する街路案内板と外国語表示の街路案内板の充実を要望します。
- ④近年、外国人観光客が増加している中、市内には和式トイレが多く見られます。外国人観光客のみならず高齢の日本人観光客のためにも、公衆トイレの洋式化を要望します。また、外国人観光客にトイレをきれいに使用してもらえるよう正しい使用方法の外国語表示やイラストなどの導入を要望します。

⑤黒石を代表する景勝地であり、年々観光客も増加している中野もみじ山を新緑の季節にも楽しんで頂けるよう観楓台や散策道の整備を要望します。また、現在は中野神社の関係者が整備をしていますが、刈り取り後の草が散策道にそのままとなっているため、足に絡み転倒する恐れもあります。刈り取り後の草を撤去する費用などの一部だけでも助成してくれるよう要望します。

9. 黒石市内の観光地における公衆無料LANの設置について（継続）

現在、黒石市内で観光地などの交流人口の多い場所（屋外）に、広域で公衆無料LANを常設しているところはありませんが、観光客等の利便性を高め、SNS等でどんどん黒石市の魅力を発信して頂く仕組みが必要であると考えます。

つきましては、地域外からの来訪者を増やすためにも黒石市内観光地等交流人口の多い屋外に広域で公衆無料LAN設置を検討して下さるよう要望します。

◆「文化・教育振興」

10. 適正配置に伴い使用されなくなる小学校の校舎や体育館、校庭の地域市民への開放について（新規）

「黒石市小・中学校適正配置計画」に基づき、令和2年4月より小学校の統合が行われるが、使用されなくなる6校（現黒石小学校、中郷小学校、北陽小学校、牡丹平小学校、浅瀬石小学校、追子野木小学校）の校舎や体育館、校庭を、有効活用する予定はあるでしょうか。

ぜひ地域市民に開放し、健康づくりやふれあい活動ができる場を維持できるよう要望します。

以上、令和2年度黒石市に対する要望事項として要望いたします。

令和2年2月12日

黒石商工会議所

会 頭 新 岡 常 雄